

日本三名橋の名勝「錦帯橋」

古い歴史と美しい環境，珍しい形状と巧みな構造をもつのが錦帯橋の特色です。

背後に連なる城山の緑，その下を流れる錦川の清流，山紫水明の景色が橋と調和して優麗なたたずまいを見せる五連の名橋「錦帯橋」。

さらに橋の上下流各60間（約108m）の地点から，上流350間（637m）下流230間（418m）以内の堤塘敷および河川敷一帯が，国の名勝「錦帯橋」として大正11（1922）年に指定されています。

錦帯橋の架替歴史

錦帯橋は，山口県最大の河川である錦川に架かっている5連の木造アーチ橋で，今から約330年前の1673（延宝元）年，第三代岩国藩主吉川きつかわ広嘉によって創建されました。

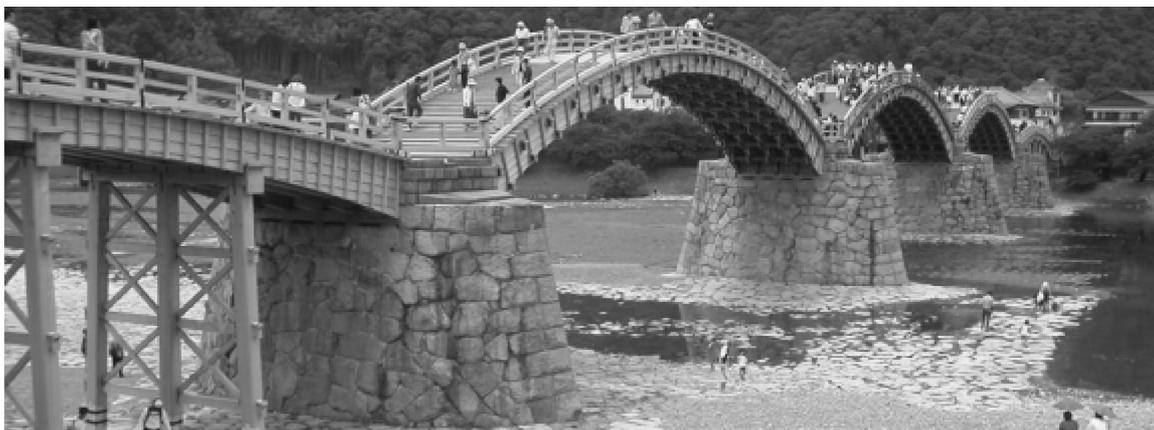
岩国藩悲願の流れない橋として誕生したこの橋は，創建翌年の延宝2年5月の梅雨の洪水によりあえなく流出しましたが原因を徹底的に究明し，同年10月末に二代目錦帯橋が完成しています。



それから，276年間不落を誇った錦帯橋でしたが昭和25年9月に岩国地方を襲ったキジア台風によって2度目の流出をしてしまいます。

しかし，岩国市では橋脚に近代工法を取り入れて直ちに再建工事に着手し，三代目錦帯橋は昭和28年に完成しました。

以来，半世紀にわたり人々を渡し続けてきた錦帯橋ですが，木造橋の宿命である腐朽による傷みが見られるようになったため，平成13年度から平成15年度にかけて50年ぶりとなる「平成の架替」が行われ，総事業費約26億円をかけた大事業は，平成16年3月20日に完成しました。

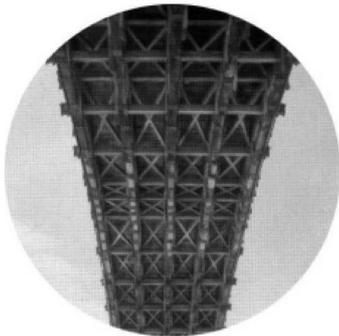


しかし、平成17年9月の台風14号による錦川の増水により第1橋（岩国市街地側）の橋脚（橋杭）2カ所が流出し、仮設の応急措置後、平成18年2月に補修を終え現在に至っています。



匠の技

河原から錦帯橋本体の構造部（裏面）を見上げると、そこには巻き金とカスガイを使用した頑丈な「木組みの技法」を見ることができます。橋上からの圧力で強度が増し、一層頑丈になる仕組みです。



世界文化遺産の登録に向けて

文化庁が募集した世界文化遺産の国内候補地として、「錦帯橋と岩国の町割」を提案しています。

錦帯橋は、現存する木造アーチ橋としては世界最長の径間を誇る日本最初の木造アーチ橋で、現代橋梁工学においても非の打ち所がないといわれるその原形を保持し継承されている世界的な傑作です。

その錦帯橋が架かる錦川を中心とした岩国の町割は、関ヶ原の合戦での遺恨を抱え、今後の戦渦の可能性を強く意識して防御を主として、錦川とその周囲の地形を巧みに活用した形態であり、世界的にも顕著な例といえます。



【交通】

- ・山陽新幹線新岩国駅よりタクシーで約10分
- ・JR 岩国駅よりタクシーで約15分
- ・山陽自動車道岩国 IC より約10分

【散策モデルコース】

（所要時間約2時間30分）
 （錦帯橋）（香川家長屋門）
 （吉香公園）（吉川家墓所）
 （目加田家住宅）（白蛇観覧所）（岩国美術館）（岩国城）（吉川史料館）（錦帯橋）

錦帯橋と隣接する吉香公園

は、梅に始まり、桜、牡丹、つつじ、花菖蒲、紫陽花、紅葉と四季折々の花々を楽しむことができる花の名所であり、一年を通じて楽しめる公園内は観光客だけでなく市民の憩いの場として親しまれています。

（桃山風南蛮造りの岩国城）

城山山頂にそびえ、眼下に蛇行した錦川や城下町、遠くに米軍基地や瀬戸の島々を展望できます。

岩国城一帯は「城山おもしろぱあく」として整備されており、森林散策を楽しめます。

ロープウェイ山頂駅から徒歩5分

【特産品】

（岩国寿司）

ちらし寿司風に仕上げた押し寿司で、古くから岩国地方ならではの郷土料理として親しまれています。

（岩国れんこん）

岩国藩主「吉川家」の家紋の九曜の紋と同じく、れんこんの穴が9つあり、味の良さは格別です。

【問合せ先】

山口県岩国市観光課
 電話 0827 41 1477
 FAX 0827 41 2750
 岩国市観光協会
 電話 0827 41 2037